

道徳の時間学習指導案

福山市立旭小学校
指導者 友野千壽

- 1 日時 平成14年12月10日(火) 第5校時
- 2 学年 第4学年 友野学級 39名
- 3 場所 4年 友野学級
- 4 主題名 日本語のよさを見つけよう 4-(6)愛国心
- 5 ねらい 日常生活で使う言葉を通して、我が国の文化や伝統に関心を持ち、大切にしようとする気持ちを持つ。
- 6 資料名 「ありがとう」の言葉 (文部省資料)

7 主題設定の理由

国を愛する心は、日本の文化や伝統に関心を持ち、それらと現在の自分とのかかわりを理解する中から芽生えてくると考えられる。

この時期の児童は、郷土の文化や伝統とのかかわりから視野を広げて、我が国の文化と伝統に関心を持ち、国を大切にすることを育てるとともに、外国の人々や文化にも関心を持てるようにしていくことが必要である。

本学級の児童は、総合的な学習の時間に、ゲストティーチャーとともに色々な国の挨拶の言葉や遊びを学んだり外国のことを調べたりする学習を通して、外国の人々や文化に関心を高めてきている。しかし、自分の住む日本という国について理解していかこうとする意識はまだまだうすく、特に日本の文化や伝統になるとあまり関心を持っているとは言えない。まして普段何気なく使っている言葉の中に深い意味のあるものが存在することが、気付いていないと思える。

資料「ありがとう」の言葉は、主人公が「ありがとう」という言葉の持つ意味を知ることによって、感謝の気持ちを態度に表わそうとする過程が描かれている。

指導にあたっては、浩の気持ちの変化を追いながら、「ありがとう」という言葉のよさを感じ取らせると共に、日常生活で使用する言葉の持つ意味に関心が向くようにし、子供たちが普段何気なく使っている日本語のよさについて考えを深め日常生活の中でも大事に使っていかこうとする気持ちを育てていきたい。

- 8 準備 板書用掲示物 ワークシート

9 学習展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の反応	支援 と評価
導 入	1 日常的に使われる挨拶などの言葉について話し合う。	日常的に使われる挨拶などの言葉にはどんなものがありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・おはようございます ・いただきます ・さようなら ・こんにちは ・ありがとう ・ごめんなさい 	「ありがとう」に意識が向けられるようにする。
展 開	2 資料を読み課題を設定する。 3 話し合う。 4 考えを深める。	資料を読んで課題をみつけましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">言葉の中の心を見つけよう。</div> <p>父に注意されたときの浩はどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族にいちいちお礼なんか言わなくていい ・そんなにうるさく言わなくてもいいのに。大切な帽子が戻ってきたとき、浩はどんな気持ちだったでしょう。 ・あきらめかけていたのに見つかってすごくうれしい。 ・届けてくださった佐々木さんありがとう <p>母の話を聞いた浩は「ありがとう」という言葉についてどう思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに深い意味があったのか。 ・いい言葉だ。 ・相手をいい気持ちにさせるんだ。 ・気持ちのよい生活を送るために大切な言葉なのだ。 <p>浩は佐々木さんに、どのようにお礼を言ったのでしょうか。</p> <p>いつもはどんな気持ちで「ありがとう」という言葉を使っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意味まで考えて使ったことはない。 ・あまり言ってなかった。 ・心を込めて言っていないことがある。 ・深い意味があるとは知らなかった。 ・言葉に込められた意味が分ったので大切にしたい。 <p>その他の、心が込められた言葉についても考えてみましょう。</p>	学習の方向づけをする。 課題がつかめたか。 浩の気持ちの変化を追いながら「ありがとう」のよさを感じ取らせる。 「ありがとう」のよさが感じとられたか。 動作化を通して浩の気持ちの変化を確かめさせる。 自分の生活経験から「ありがとう」について考えを深めさせる。 言葉の中に込められた心を大切にしていきたいという気持ちを高めることができたか。
終 末	5 ゲストティーチャーのお話を聞く。	ゲストティーチャーのお話を聞きましょう。	ゲストのお話を聞き、日本語のよさに対する気持ちを深めさせる。